

第 16 回 コンクリート構造物の 補修，補強，アップグレードシンポジウム

The 16th JSMS Symposium on Concrete Structure Scenarios

参加者のしおり

主 催：公益社団法人日本材料学会

日 時：2016 年 10 月 13 日（木），14 日（金）

場 所：京都テルサ

(表紙の裏は白紙)

ご 挨拶

持続可能な社会を実現する上で、その基盤をなすコンクリート構造物を合理的に維持管理するための技術が不可欠であり、その確立が急務となっている。

このような背景の中、本シンポジウムでは、2001年の第1回目を皮切りに、毎年1回、コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードに関する最新の研究、技術開発およびその適用に関する成果が発表されるとともに、理解を深めるための議論が行われ、今年で16回目を迎える。

シンポジウムへの論文投稿件数は年々増加し続けており、社会からの当該分野に対する関心の高さと期待の大きさを窺い知ることができる。大会主催者としても大変嬉しいことであり、ありがたく感謝申し上げる次第である。

本シンポジウムとともに発行される論文報告集に掲載される「論文」と「報告」は、それぞれ3名の査読者による査読結果と、それらを踏まえた論文集編集委員会での厳正な審議を経た上で、採択され、発表されるに至っている。本論文報告集のレベルが高く維持され続けているのは、第1回目から14回目まで実行委員長を務められた宮川豊章先生をはじめとする、これまでの実行委員の方々のご尽力の賜物である。これまでの活動に多大なる敬意を表すとともに、第15回から実行委員長を引き継いだ者として、今後のさらなる発展をここに誓いたい。

なお、今回のシンポジウムは、昨年に引き続き日本材料学会の材料 WEEK の期間中に開催される。材料 WEEK は、従来の材料工学連合講演会の趣旨を引き継ぐ企画として開催されるものであり、さまざまな材料分野のワークショップや部門委員会の企画によるシンポジウム、講習会ならびに公開部門委員会などが予定されている。この企画により、コンクリート分野以外の方にも、本シンポジウムについて知って頂く機会になればと願うとともに、本シンポジウムの参加者各位に材料学会の他分野の活動にも興味を持っていただくきっかけになれば幸いである。

本シンポジウムは、コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードに関係する技術者・研究者が一堂に会し、高度で最新の技術について議論を交わし、さらに参加者間で交流するとともに、未来へ向けての夢を語る場でもある。本シンポジウムが参加者の皆様方の明日の糧になれば幸甚である。

2016年10月

コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウム
実行委員会 委員長 鎌田 敏郎

[招待講演]

第 1 会場（11:30～12:30）

講演題目：緑・造園空間にみる持続的マネジメントの知恵

講演者：中瀬 勲
（兵庫県立 人と自然の博物館 館長）

司会：三方 康弘（大阪工業大学）

[一般講演]

論文、報告（◇印）ともに：発表10分、質疑5分

第1日目 10月13日（木）

セッション1 第1会場（9:45～11:15）

【点検・調査の方法1】

座長：大野健太郎（首都大学東京）・高鍋雅則（アミック）

1	AE トモグラフィ法による輪荷重走行試験 下でのRC床版損傷進展評価	麻植久史 塩谷智基 西田孝弘 前島 拓	京都大学 京都大学 京都大学 日本大学
2	走査加熱を用いたコンクリート構造物のアクティブサーモグラフィ非破壊試験	溝上善昭 花井 拓 阪上隆英 竹内優人 和泉遊以	本州四国連絡高速道路 本州四国連絡高速道路 神戸大学 神戸大学 滋賀県立大学
3	赤外線サーモグラフィ法を用いた四国地方における橋梁コンクリートに発生する剥離領域の劣化定量分析	橋爪謙治 橋本和明 松田靖博 石田哲也 高谷 哲	西日本高速道路エンジニアリング 四国 西日本高速道路エンジニアリング 四国 西日本高速道路エンジニアリング 四国 東京大学 京都大学
4	漏洩磁束法における任意のかぶりでの測定磁束密度の推定に関する研究	寺澤広基 佐藤大起 鎌田敏郎	大阪大学 大阪大学 大阪大学
5	かぶりの鉄分量およびひび割れが漏洩磁束法による鉄筋破断診断に与える影響	永瀬繁幸 寺澤広基 松本理佐 服部篤史 河野広隆	京都大学 大阪大学 京都大学 京都大学 京都大学
6	漏洩磁束法を用いたPC鋼材の腐食検知に関する研究	サガラジャンアルトゥル 高谷 哲 山本貴士	京都大学 京都大学 京都大学

セッション2 第2会場（9:45～11:15）

【ASR】

座長：鍵本広之（電源開発）・三方康弘（大阪工業大学）

7	アルカリシリカ反応がコンクリートの力学的性質に与える影響	中島俊介 黒田 保 吉野 公 金氏裕也	五洋建設 鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学
8	亜硝酸リチウムの圧入時期がASR抑制に与える影響	高木雄介 大谷智也 六郷恵哲 小林孝一	岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学

9	リチウム系電解液を用いた通電と表面保護の併用による ASR 膨張抑制効果	上田隆雄 藤本磨美 七澤 章 塚越雅幸	徳島大学 徳島大学 デンカ 徳島大学
10	海水を用いた高流動コンクリートの ASR 膨張とその抑制対策に関する実験的検討	羽瀧貴士 川端雄一郎 河村直哉 忽那 惇 清宮 理	東亜建設工業 港湾空港技術研究所 国土技術政策総合研究所 東亜建設工業 早稲田大学
11	ASR 劣化を生じた有ヒンジ PC ラーメン橋の長期モニタリング	深田幸史 浦 修造 津田 誠 笹谷輝彦 鳥居和之	金沢大学 国土開発センター 石川県 国土開発センター 金沢大学
12	促進コンクリートプリズム試験および屋外暴露試験による ASR 膨張挙動の違いに関する考察	小田 聡 田中暁大 山田一夫 小川彰一 佐川康貴	九州大学 九州大学 国立環境研究所 太平洋コンサルタント 九州大学

セッション 3 第 3 会場 (9:45~11:15)

【物性一般 1】

座長：審良善和（鹿児島大学）・吉田夏樹（日本建築総合試験所）

13	覆工コンクリートにおける脱枠時期および養生手法が表層品質に与える影響	村上順菜 辻田陽一郎 二村憲太郎 伊代田岳史	西武建設 西武建設 西武建設 芝浦工業大学
14	焼却飛灰との接触によるコンクリートの化学的劣化	森 寛晃 東 洋輔 多田克彦 橘 修 岩城一郎	太平洋セメント 太平洋セメント 太平洋セメント 昭和コンクリート 日本大学
15	乾燥によるモルタルの細孔構造変化を表す温湿度時間積	坂口朗央 濱 幸雄	室蘭工業大学 室蘭工業大学
16	護岸に適用する中流動コンクリートの基本的性質と劣化対策	野村晃平 平井孝明 鶴田浩章 上田尚史	関西大学 関西大学 関西大学 関西大学
17	DEF 膨張と水和生成物に関する研究	小川彰一 渡邊禎之 柴田真仁 山田一夫 川端雄一郎	太平洋コンサルタント 東京都立産業技術研究センター 太平洋コンサルタント 国立環境研究所 港湾空港技術研究所
18	供試体製造時の練混ぜ容量の違いがポリマーセメントモルタルの耐久性能評価に及ぼす影響	我喜屋宗満 齋藤俊克 出村克宣 掛川 勝	日本大学 日本大学 日本大学 太平洋マテリアル

セッション4 第1会場 (13:30~15:15) 【点検・調査の方法2】			
座長：小澤満津雄（群馬大学）・青木圭一（中日本高速道路）			
19	打音時の可聴音響データのスペクトル解析による検査技術の定量化	橋本勝文 福山智子 金 侖美 牛渡裕二 佐光正和	京都大学 北海道大学 北海道大学 構研エンジニアリング 構研エンジニアリング
20	ドリル削孔を利用したコンクリート内部品質評価のための弾性波トモグラフィ手法の開発	西田孝弘 塩谷智基 黄 千紋 八ツ元仁 小椋紀彦	京都大学 京都大学 京都大学 阪神高速 CORE 技術研究所
21	ウォーターカップリング磁歪センサによるコンクリートの弾性波伝搬速度の測定とPC グラウト充填状況の評価への適用	内田慎哉 松橋貫次 手塚正道 栗原陽一 湊 利行	立命館大学 オンガエンジニアリング オリエンタル白石 オンガエンジニアリング オンガエンジニアリング
22	PC シースがコンクリート内部を透過する弾性波に与える影響	大島義信 眞武俊輔 楠本秀樹 河野広隆	土木研究所 大林組 西日本旅客鉄道 京都大学
23	鋼板接着補強された RC 床版の衝撃弾性波法による損傷評価手法に関する実験的検討	石田卓也 鎌田敏郎 寺澤広基 藤原理絵 澤田友治	大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学 阪神高速技術
24	弾性波初動部を用いた PC グラウト未充填部検出に関する基礎検討	大野健太郎 西村桂一 宇治公隆 上野 敦	首都大学東京 首都大学東京 首都大学東京 首都大学東京
25	コンクリート部材内部の鉄筋を弾性波の発信源とする電磁パルス法に基づくかぶりコンクリートの弾性波伝搬速度の測定	高鍋雅則 内田慎哉 服部晋一 森 雅司	アミック 立命館大学 大阪大学 非破壊検査
セッション5 第2会場 (13:30~15:15) 【鋼材腐食1】			
座長：下村 匠（長岡技術科学大学）・内藤英樹（東北大学）			
26	コンクリート中の溶融亜鉛めっき鉄筋の初期腐食挙動	飯島 亨 坂本誠也 盛永康文	鉄道総合技術研究所 那須電機鉄工 那須電機鉄工
27	塩害と中性化における劣化機構の違いが鉄筋の腐食形態に及ぼす影響	前原 聡 伊代田岳史	東急建設 芝浦工業大学

28	コンクリート構造物の水分状態に着目した酸素の浸透範囲に関する研究	加藤智丈 佐々木巖 櫻庭浩樹 熊谷慎祐 西崎 到	土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所
29	コンクリート模擬環境下におけるステンレス鉄筋の電気化学的性質	平野裕一 高谷 哲 山本貴士	京都大学 京都大学 京都大学
30	曲げひび割れに起因する鉄筋のマクロセル腐食に対する樹脂被覆による抑制効果	黒田一郎 古庄将人	防衛大学校 防衛大学校
◇31	測定方法の違いが電気化学的測定結果に与える影響の実験的検討	染谷 望 加藤佳孝 加藤絵万	港湾空港技術研究所 東京理科大学 港湾空港技術研究所
32	表面被覆の施工範囲が塩害環境における鉄筋の腐食状態に与える影響	佐々木巖 加藤智丈 熊谷慎祐 櫻庭浩樹 西崎 到	土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所

セッション6 第3会場 (13:30~15:15)

【物性一般2】

座長：加藤佳孝（東京理科大学）・尾上幸造（熊本大学）

33	性状が異なるコンクリートにおける適切なバイブレータの締めめ方法の提案	太田真帆 伊代田岳史	芝浦工業大学 芝浦工業大学
34	ブリーディングによる空隙構造の違いが物質透過性に及ぼす影響	田箆滉貴 伊代田岳史	芝浦工業大学 芝浦工業大学
35	高炉スラグを用いたコンクリートの中性化、塩化物イオン浸透性および電気抵抗性に関する研究	藤井隆史 堀 水紀 藤原 斉 綾野克紀	岡山大学 岡山大学 岡山大学 岡山大学
36	高炉スラグ細骨材がモルタルの電気抵抗率と塩化物イオン実効拡散係数に及ぼす影響	藤田 亮 皆川 浩 宮本慎太郎 久田 真 細谷多慶	東北大学 東北大学 東北大学 東北大学 ランダス
◇37	電極の設置条件の違いが二電極法により測定されるモルタル供試体の電気抵抗に与える影響	工藤正智 内田慎哉 鎌田敏郎 服部晋一 福上大貴	大阪大学 立命館大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学
38	含水状態を変えたコンクリートの交流インピーダンス測定に基づく空隙構造の解析	岡本祐輝 福山智子 長谷川拓哉 千歩 修	北海道大学 北海道大学 北海道大学 北海道大学

◇39	断面修復工法が適用された海洋コンクリート構造物の長期耐久性に関する検討	山路 徹 与那嶺一秀 田中亮一 網野貴彦 羽瀨貴士	港湾空港技術研究所 港湾空港技術研究所 東亜建設工業 東亜建設工業 東亜建設工業
-----	-------------------------------------	---------------------------------------	--

セッション7 第1会場 (15:30~17:15)

【点検・調査の方法3】

座長：松山公年（日本工営）・麓 隆行（近畿大学）

◇40	金属系あと施工アンカーボルト固着部の電磁パルス法による非破壊評価手法	山本貴大 内田慎哉 鎌田敏郎 寺澤広基 林本和也	大阪大学 立命館大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学
41	電気伝導率計を用いた圧縮強度推定のメカニズムの検討	伊藤孝文 伊代田岳史	芝浦工業大学 芝浦工業大学
42	断面修復材の付着性に関する促進劣化試験方法の検討	片平 博 川上明大 古賀裕久	土木研究所 住友大阪セメント 土木研究所
43	高温加熱を受けたコンクリートの塩化物の拡散係数による耐久性評価	鉄羅健太 小澤満津雄 迫井裕樹 藤本謙太郎 明石孝太	群馬大学 群馬大学 八戸工業大学 ピーエス三菱 群馬大学
44	アンカー引抜試験における最大引抜荷重を利用したコンクリート側壁の凍害劣化診断	緒方英彦 清水邦宏 石神暁郎 田場一矢	鳥取大学 サンコーテクノ 土木研究所 土木研究所
45	フレッシュモルタルの透水係数と硬化モルタルの透気性の関係に及ぼす配合要因の影響	澤田 陽 田中愛美 片桐彰吾 犬飼利嗣	岐阜工業高等専門学校 岐阜工業高等専門学校 大林組 岐阜工業高等専門学校
46	ドリル削孔粉末を利用したセメント硬化体内部のpH推定方法に関する検討	江口康平 加藤佳孝 金子泰明	東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学

セッション8 第2会場 (15:30~17:15)

【鋼材腐食2】

座長：羽瀨貴士（東亜建設工業）・黒田一郎（防衛大学校）

47	吹付け施工したSHCCの曲げひび割れ発生時の鉄筋防食性能	服部祐介 鈴木雅人 小林孝一	岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学
48	塩害劣化に対応したRC床版の外部電源・電気防食工法の技術開発	浦 修造 鴨谷知繁 石井浩司 鳥居和之	国土開発センター ピーエス三菱 ピーエス三菱 金沢大学

◇49	長寿命型電気防食用陽極材の性能評価とLCC低減効果	水谷征治 峰松敏和 山本 誠 佐野清史 小林孝一	東洋建設 住友大阪セメント 住友大阪セメント 東洋建設 岐阜大学
◇50	電気防食の維持管理における課題抽出を目的とした橋梁調査	関 繭果 宇佐美惣 小城 守 大島高雄 峰松敏和	土木研究所 土木研究所 ナカポーテック ナカポーテック 住友大阪セメント
51	断面修復材の種類が犠牲陽極材の防食性能に与える影響	宮口克一 高谷 哲 山本貴士 宮川豊章	デンカ 京都大学 京都大学 京都大学
52	通電方法が電気防食工法の防食効果に与える影響に関する検討	三村典正 太田 翔 黒川公人 河野広隆	ショーボンド建設 ショーボンド建設 ショーボンド建設 京都大学
53	流電陽極方式における陽極と鉄筋の表面積比の違いが防食効果に与える影響に関する実験的検討	香田真生 青山敏幸 山本大介 濱田秀則	ピーエス三菱 ピーエス三菱 九州大学 九州大学

セッション9 第3会場 (15:30~17:15)

【数値解析によるアプローチ】

座長：富山 潤（琉球大学）・千々和伸浩（東京工業大学）

54	劣化-構造連成解析による硫酸環境下のRCはり部材の残存耐力予測	渡部孝彦 佐藤靖彦	大成建設 北海道大学
55	コンクリート構造物の維持管理へのCIM応用の可能性と有効性の検討	中村文則 小松 駿 大原涼平 下村 匠	長岡技術科学大学 ケミカル工事 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学
56	段階的な断面修復を施した腐食PCはりの曲げ破壊挙動に対する非線形有限要素解析	高橋良輔 田中泰司 宮里心一	秋田大学 東京大学 金沢工業大学
57	外部硫酸塩劣化による膨張ひび割れ進展挙動に関する解析的検討	三浦泰人 山本佳士 中村 光	名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学
◇58	二電極法におけるモルタル中の電流密度分布に関する解析的検討	福上大貴 内田慎哉 鎌田敏郎 服部晋一 工藤正智	大阪大学 立命館大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学
59	接触爆発を受ける無補強および裏面補強鉄筋コンクリート版の損傷に関する数値解析的研究	山口 信 長渡健之 森島慎太郎	熊本大学 熊本大学 熊本大学

60	主桁間隔の狭い鉄道 PCI 形桁を対象とした外ケーブル補強工法の適用性に関する解析的検討	湯浅康史 森川英典 福田圭祐 淵澤健一	西日本旅客鉄道 神戸大学 ジェイアール西日本コンサルタンツ JIP テクノサイエンス
----	--	------------------------------	---

第 2 日目 10 月 14 日 (金)

セッション 10 第 1 会場 (9:00~10:30)

【点検・調査の方法 4】

座長：水田真紀（理化学研究所）・麻植久史（京都大学）

61	RC 床版の内部水平ひび割れ部を平板と見なした場合の動的応答の特徴	中山昭二 谷口朋代 小野祐輔	ソーキ 鳥取大学 鳥取大学
62	鋼板や炭素繊維シートによって巻立て補強された RC 部材の損傷評価手法	小林滉季 高田 瞬 諸橋拓実 内藤英樹 鈴木基行	東北大学 京浜急行電鉄 東北大学 東北大学 東北大学
63	模擬膨張骨材を用いたコンクリートの ASR ひび割れの再現と樹脂注入性能の評価への利用	柿澤雅樹 藤本 匠 西尾亮人 高木雄介 六郷恵哲	岐阜大学 協和設計 岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学
64	励磁コイル加振による鉄筋微小振動のマイクロ波変位計測と鉄筋腐食評価への応用	本多秀聡 三輪空司 栗田伸幸 小澤満津雄	群馬大学 群馬大学 群馬大学 群馬大学
65	超広帯域 RC レーダによる鉄筋腐食評価とその鉄筋径依存性	三輪空司 山村允人 小澤満津雄	群馬大学 群馬大学 群馬大学
66	ひび割れが鉄筋腐食に及ぼす影響評価に関する X 線 CT 法の利用	高橋駿人 志村和紀 杉山隆文 田中大之	北海道大学 北海道大学 北海道大学 北海道立総合研究機構

セッション 11 第 2 会場 (9:00~10:30)

【凍害】

座長：緒方英彦（鳥取大学）・小山田哲也（岩手大学）

67	凍結融解作用による損傷を考慮した RC はり部材の 3 次元非線形有限要素解析	金澤 健 佐藤靖彦 高橋良輔 林田 宏	北海道大学 北海道大学 秋田大学 土木研究所
68	凍結防止剤の浸透、輪荷重の載荷及び凍結融解の複合作用がコンクリートのスケーリングに及ぼす影響	高山千晶 早坂洋平 宮本慎太郎 皆川 浩 久田 真	東北大学 ネクスコエンジニアリング東北 東北大学 東北大学 東北大学

69	積雪寒冷地のダムコンクリートのスケーリング抵抗性とその進行予測	竹田京子 佐藤靖彦 長谷川武春	北海道大学 北海道大学 国土交通省北海道開発局
70	プロピオン酸ナトリウムがスケーリング劣化に与える影響	畑佐陽祐 木下幸治 蓮池里菜	興栄コンサルタント 岐阜大学 岐阜大学
71	凍結融解作用を受けたひび割れ充填材の接着耐久性に関する検討	内藤 勲 島多昭典 重永真志 堀井久一 山内 匡	土木研究所 国土交通省北海道開発局 ダイフレックス コニシ 日本国土開発
72	混和材を用いたコンクリートの凍害によるひび割れ密度の簡易推定手法の検討	都築敦大 長谷川拓哉 千歩 修 福山智子	北海道大学 北海道大学 北海道大学 北海道大学

セッション 12 第 3 会場 (9:00~10:30)

【補修・補強材料 1】

座長：宮里心一（金沢工業大学）・合田寛基（九州工業大学）

73	表面含浸材の併用法における塗布量と劣化抑制効果の関係	三好孝英 鶴田浩章 上田尚史	関西大学 関西大学 関西大学
74	施工環境および暴露環境が表面被覆工の接着性と遮塩性に及ぼす影響	熊谷慎祐 櫻庭浩樹 加藤智文 佐々木巖 西崎 到	土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所
75	接着剤の収縮特性・保水性があと施工アンカーの引張耐力に及ぼす影響	中村英佑 川上明大 古賀裕久	土木研究所 住友大阪セメント 土木研究所
76	有機系表面被覆材の劣化を考慮した鉄筋コンクリート造部材の中性化に基づく信頼性耐久設計手法の提案	長谷川拓哉 千歩 修 福山智子	北海道大学 北海道大学 北海道大学
77	コンクリート構造物へのエポキシ樹脂ライニング材に対する混合有機酸の浸入挙動と寿命予測	久保内昌敏 杉浦宏介 荒尾与史彦 谷本那月	東京工業大学 村田製作所 東京工業大学 全国上下水道エポキシ工事業協会
◇78	自己治癒材断面修復材料を用いた地下鉄トンネルにおける新たな漏水補修対策の検討	亀井啓太 安 台浩 橋本達朗 小椋紀彦 岸 利治	東京地下鉄 SERIC JAPAN CORE 技術研究所 CORE 技術研究所 東京大学生産技術研究所

セッション 13 第 1 会場 (10:45~12:30)
【力学的性質 1】
 座長：宮川義範（電力中央研究所）・日比野 誠（九州工業大学）

79	補強梁の接続範囲が片持ちスラブの補強効果に及ぼす影響	仁平達也 笠倉亮太 岡本 大	鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所
80	風力発電塔基礎接合部における沈下現象に関する基礎的研究	黒木唯真 角掛久雄 江田七海 村川史朗	大阪市立大学 大阪市立大学 日建設計シビル 日建設計シビル
81	PVA 太径短繊維の埋込長さや角度が繊維補強コンクリートの引張性能に及ぼす影響	米山翔太 坂井 悟 小島 巧 小林孝一 六郷恵哲	岐阜大学 昭和コンクリート工業 岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学
82	バサルト製メッシュを接着した RC 梁のせん断補強効果に関する実験	盛岡諒平 角掛久雄 田村悟士	大阪市立大学 大阪市立大学 アイゾールテクニカ
83	爆轟を受けた鉄筋コンクリート部材の曲げ性能評価に関する研究	清 敦俊 清原千鶴 別府万寿博 小澤満津雄 鉄羅健太	東京理科大学 東京理科大学 防衛大学校 群馬大学 群馬大学
84	衝撃的外力により損傷した凍害劣化 RC 梁の残存耐力	池田和隆 島多昭典 栗橋祐介 水田真紀 岸 徳光	室蘭工業大学 土木研究所 室蘭工業大学 理化学研究所 釧路工業高等専門学校
85	ディープビーム供試体における ASR 損傷の評価並びに ASR 損傷及びその補修が耐荷性能に与える影響に関する実験的研究	坂本裕司 河野哲也 眞弓英大 七澤利明	土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所

セッション 14 第 2 会場 (10:45~12:30)
【塩害 1】
 座長：堀口賢一（大成建設）・橋本勝文（京都大学）

86	離島架橋環境における暴露 5 年のフライアッシュコンクリートの塩分浸透特性	風間 洋 富山 潤 比嘉正也 小旗俊介	アール・アンド・エー 琉球大学 沖縄県建設技術センター 中研コンサルタント
87	凍結防止剤散布環境下におけるコンクリート道路橋梁上部工の塩化物イオン濃度分布	山口恭平 佐々木楓 菅田信雄 皆川 浩 久田 真	東日本高速道路 ネクスコ・エンジニアリング東北 東日本高速道路 東北大学 東北大学

◇88	寒冷地の道路橋橋台における塩化物イオン浸透に関する定量的評価	川村浩二 遠藤裕丈 島多昭典 高田尚人	土木研究所 土木研究所 国土交通省北海道開発局 土木研究所
89	凍結防止剤散布下のコンクリート構造物の表面塩化物イオンと塩分浸透分布に関する一考察	菊池創太 久保善司 木虎久人 柳井喜弘 樅山好幸	金沢大学 金沢大学 西日本高速道路エンジニアリング 関西 西日本高速道路エンジニアリング 関西 西日本高速道路エンジニアリング 関西
90	凍結防止剤を含む漏水の境界付近における塩分蓄積に関する一考察	渡辺暁央 石川裕一	苫小牧工業高等専門学校 中日本ハイウェイエンジニアリング 名古屋
91	薄板モルタル法による長崎市端島(軍艦島)の塩害環境評価	佐々木謙二 行村岳哲 原田哲夫	長崎大学 大分県庁 長崎大学
92	薄板モルタルと数値解析手法による橋梁上部工の付着塩分量予測に関する基礎研究	吉次優祐 松田愛子 富山 潤 佐伯竜彦 藍檀オメル	琉球大学 琉球大学 琉球大学 新潟大学 琉球大学

セッション 15 第3会場 (10:45~12:30)

【補修・補強材料2】

座長：鶴田浩章（関西大学）・中村英佑（土木研究所）

93	けい酸塩系表面含浸材に併用する反応促進材の違いがコンクリートの品質改善に与える影響	金堀雄伍 樫原弘貴 添田政司 久保田崇嗣 阿部 稜	福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学
94	シラン系表面含浸材の含浸深さを非破壊で管理する技術に関する研究	遠藤裕丈 島多昭典	土木研究所 国土交通省北海道開発局
◇95	施工後 30 年を経過した反応性シラン系表面含浸材の撥水性効果	瘡師英利 山崎大輔 山中正一 国枝 稔 小柳 治	ショーボンド建設 ショーボンド建設 ショーボンド建設 岐阜大学 岐阜大学
96	ひび割れ部におけるシラン系含浸材の適用性に関する検討	久保善司 阿部花香 菊池創太	金沢大学 東亜建設工業 金沢大学
97	けい酸塩系表面含浸材が火害を受けたコンクリートの物質侵入抵抗性に与える影響	鎌田亮太 谷辺 徹 小澤満津雄 鉄羅健太 明石孝太	太平洋マテリアル 太平洋マテリアル 群馬大学 群馬大学 群馬大学
98	けい酸塩系表面含浸材およびカルシウム補助材がコンクリートの耐久性向上に与える影響	TRAN CONG PHUC 小島信一 浅野達夫 小林孝一	岐阜大学 丸和バイオケミカル 馬居化成工業 岐阜大学

99	けい酸塩系表面含浸材の含浸深さと中性化抑制に関する性能評価	八藤後友也 室谷 満 松川幸男 佐藤雅宏 小林孝一	岡三リビング アールシージージャパン RCG インナーシール協会 スベック 岐阜大学
----	-------------------------------	---------------------------------------	--

セッション 16 第 1 会場 (13:30~15:15)

【力学的性質 2】

座長：上原子晶久（弘前大学）・岡本 大（鉄道総合技術研究所）

100	ASR により劣化したコンクリートの物性値が PC 梁構造の曲げ耐荷力に与える影響	廣井幸夫 山本貴士 戸田圭彦 高木祐介	IHI インフラ建設 京都大学 JIP テクノサイエンス IHI インフラ建設
101	無筋コンクリート橋脚の打継目性状に関する基礎的検討	坂岡和寛 大坪正行 和田一範 小山倫史	西日本旅客鉄道 西日本旅客鉄道 鉄道総合技術研究所 関西大学
102	桁端部のウェブに水平ひび割れを模擬した桁供試体の耐荷性能評価に関する実験的研究	関口齊治 石田雅博 大島義信 藤井雄介 林 克弘	土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所
103	鉄道ラーメン高架橋中間スラブ補強工法の耐荷機構に関する一考察	笠倉亮太 仁平達也 綿引泰治 加藤雅史 岡本 大	鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 日本交通技術 日本交通技術 鉄道総合技術研究所
104	単純 RC-T 桁のせん断耐力における圧縮フランジの効果に関する実験および解析的研究-既設橋の評価に向けて-	林 克弘 大島義信 石田雅博	土木研究所 土木研究所 土木研究所
105	PVA 繊維補強高靱性モルタルの引張性能に及ぼす温度の影響	林 大智 六郷恵哲 小林孝一 林 承燦 高田浩夫	岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学 デーロス・ジャパン 岐阜県生コンクリート工業組合技術センター
106	鉄筋腐食分布の推定に基づく腐食 RC はりの曲げ耐荷力算定手法に関する研究	藤澤真海 長谷川達彦 高谷 哲 山本貴士 宮川豊章	京都大学 京都大学 京都大学 京都大学 京都大学

セッション 17 第 2 会場 (13:30~15:15) 【塩害 2】		
座長：佐伯竜彦（新潟大学）・川端雄一郎（港湾空港技術研究所）		
107	コンクリートの塩化物イオン浸透性に与える鋼繊維の寸法および混入率の影響	佐々木 亘 石澤 正大 恩田 陽介 竹山 忠臣 谷口 秀明 三井住友建設 三井住友建設 三井住友建設 三井住友建設 三井住友建設
108	乾湿繰り返しによるモルタル中の水分移動が塩化物イオンの浸透特性に及ぼす影響	福重 耕平 小池 賢太郎 審良 善和 山口 明伸 武若 耕司 鹿児島大学 鹿児島大学 鹿児島大学 鹿児島大学 鹿児島大学
110	既設 PCT 桁道路橋のグラウト充填不良部における PC 鋼線の局部腐食発生性状に関する実験的検討	美濃 智広 森川 英典 河村 睦 神戸大学 神戸大学 神鋼鋼線工業
111	亜硝酸リチウム水溶液が PC 鋼線の破断特性に与える影響	石井 浩司 鴨谷 知繁 森川 英典 ピーエス三菱 ピーエス三菱 神戸大学
112	表面被覆材や含浸材の塗布面が異なる RC 試験体の腐食性状	櫻庭 浩樹 熊谷 慎祐 加藤 智文 佐々木 巖 西崎 到 土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所
セッション 18 第 3 会場 (13:30~15:15) 【補修・補強工法】		
座長：国枝 稔（岐阜大学）・江口和雄（ショーボンドマテリアル）		
113	RC床版の増厚部の体積変化がはく離進展挙動に与える影響評価	池端 信哉 渡邊 理智 中村 光 名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学
114	上面増厚工法施工後に界面剥離により劣化した RC 床版の補修工法に関する実験的研究	鈴木 真 樅山 好幸 神田 利之 東山 浩士 西日本高速道路エンジニアリング 関西 西日本高速道路エンジニアリング 関西 ケミカル工事 近畿大学
◇115	豆板に樹脂を注入して補修する工法の試験施工	佐々木 尚美 松田 康紀 小林 薫 東日本旅客鉄道 東日本旅客鉄道 東日本旅客鉄道
◇116	スタッド切断による合成桁の RC 床版撤去方法に関する検討	高木 祐介 峯村 智也 廣井 幸夫 齋藤 史朗 橘 肇 IHI インフラ建設 首都高速道路 IHI インフラ建設 IHI インフラシステム 駒井ハルテック

117	地下埋設 RC 構造物のひび割れ漏水部における補修対策に関する実験的検討	藤元祐行 審良善和 山路 徹 与那嶺一秀 池田憲造	鹿児島大学 鹿児島大学 港湾空港技術研究所 港湾空港技術研究所 関西エアポート
118	栈橋上部工補修用吊り足場の設置・撤去作業の効率化に向けたユニット式足場床の基礎的検討	鶴岡秀樹 網野貴彦 田中亮一 川島 仁	東亜建設工業 東亜建設工業 東亜建設工業 東亜建設工業
119	ポットホール応急補修工法の基礎的実験	杉江匡紀 福田雅人 横山和昭 鈴木正範 徳光 卓	富士ピー・エス 西日本高速道路 西日本高速道路 西日本高速道路エンジニアリング 中国 富士ピー・エス

(裏表紙の裏は白紙)

[スケジュール]

会 場	第 1 会場 (A・B・C 会議室)	第 2 会場 (第 2・第 3 セミナー室)	第 3 会場 (中会議室)
第 1 日目 10 月 13 日 (木)			
9:00~9:30	受 付		
9:30~9:35	開会式	—	—
9:35~9:45	休 憩		
9:45~11:15	セッション 1 【点検・調査の方法 1】	セッション 2 【ASR】	セッション 3 【物性一般 1】
11:15~11:30	休 憩		
11:30~12:30	招待講演	—	—
12:30~13:30	昼 食		
13:30~15:15	セッション 4 【点検・調査の方法 2】	セッション 5 【鋼材腐食 1】	セッション 6 【物性一般 2】
15:15~15:30	休 憩		
15:30~17:15	セッション 7 【点検・調査の方法 3】	セッション 8 【鋼材腐食 2】	セッション 9 【数値解析によるアプローチ】
17:15~17:45	休 憩 (懇親会受付)		
17:45~19:15	懇親会 (レストラン朱雀)		
第 2 日目 10 月 14 日 (金)			
8:30~9:00	受 付		
9:00~10:30	セッション 10 【点検・調査の方法 4】	セッション 11 【凍害】	セッション 12 【補修・補強材料 1】
10:30~10:45	休 憩		
10:45~12:30	セッション 13 【力学的性質 1】	セッション 14 【塩害 1】	セッション 15 【補修・補強材料 2】
12:30~13:30	休 憩		
13:30~15:15	セッション 16 【力学的性質 2】	セッション 17 【塩害 2】	セッション 18 【補修・補強工法】
15:15~15:30	休 憩		
15:30~16:00	閉会式	—	—